

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-1 鈴友ビル4F TEL 03-5719-7601 FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/

2016年7月31日発行 第13号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行) 発行人: 関田正幸 編集人: 徳永英樹

平成28年度 定時会員総会 開催報告

＝ 5月27日 東京オペラシティ(新宿) ＝

平成28年度の定時会員総会が、5月27日(金)東京オペラシティ 7F会議室にて開催されました。定時会員総会は正会員35名(代理人出席含む)の出席により定数を満たし成立、以下の議案が審議されました。

平成27年度の事業報告及び決算報告については提案の議案書通り満場一致で可決承認されました。

平成28年度の事業計画及び収支予算については提案の議案書通り満場一致で可決承認されました。尚、平成28年度の主な事業活動は以下の通りです。

◇平成28年度の法人運営基本方針

- (1) 会員間の連携強化に向け協議会や懇談会を通じ協会組織の安定化を推進。
- (2) 会員資格と会費の制度改革の具体化に向け諸課題の解決を目指す。

◇各種事業活動の推進

●会員向けの事業活動 【重点事業】

- ※人材育成事業(会員研修会・経営懇談会の開催)
- ※情報収集提供と調査研究(ガイドブックの発刊、公開講座の開催検討)
- ※協会広報活動の拡充(広報誌の発行、月刊メール配信)

●クラシック音楽の普及に向けて 【重点事業】

- ※普及活動(子ども青少年クラシック音楽普及事業[Y-Classic])の開催。
- ※公共ホール音楽活性化関連事業への制作協力。
- ※【新規】公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業への協力
- ※【新規】Music Network Japanへの参画(東京五輪に関連する文化プログラム関連事業に関係団体と協力して取り組む。)

●文化振興に向けた諸活動(文化振興・国際交流)

- ※文化芸術振興フォーラムに参画し文化行政の諸政策に答申や提言を行う。
- ※文化省創設に向け関係団体と協力推進する。
- ※FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)、IAMA(国際アーティストマネジメント協会)等アジアや欧米の諸団体と交流・連携を推進。
- ※心の復興音楽基金の運営。

●協会の目的に適う事業

- ※宝くじドリーム館でのコンサート等を通じクラシック音楽の普及活動を推進。



続いて、任期途中による役員のリタイアを受け、後任理事が選出され満場一致で承認されました。[新理事は西村友伸氏(東急文化村代表取締役社長)]

総会終了後は簡単な親睦会が開催され、参加者同士の交流と親睦が深められました。

尚、例年、定時会員総会に併せて開催しておりました春の会員懇親会については、今年より見合せ、年明けの新年会に集約致しました。賛助会員の皆様には、恒例となっております新年会に是非ご出席下さいませ。

今回の会場については公益財団法人東京オペラシティ文化財団様より、格別のご協力をいただきました。会員一同感謝申し上げます。

Topics

制度改革小委員会からのお知らせ

従来からの課題である会員資格と会費制度の改革(制度改革)については、昨年度小委員会を設置し本日までに計5回の委員会を重ねてまいりました。

改革の論点は、定款に則った会員資格への在籍とそれに伴う会費制度です。

具体的には、現在、賛助会員に在籍している正会員資格該当者を、いかに正会員になっていただくかと言う点です。その為には、年会費の差と言うハードルがある事から、正会員及び賛助会員の会費額の見直しと共に、より具体的な会員メリットの創出に向けて検討を行っています。

今秋にも具体的な改革案を会員各位にお示しし、会員各位のご意見を踏まえ、よりよい方針に向けて実行していきたいと考えていますので、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

【制度改革の背景】

定款による正会員の資格者は「クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動を営む法人又は個人又は団体」となっており、賛助会員の資格者は「正会員の資格に該当しない者」を原則としていますが、現在賛助会員の多くに正会員の資格者が加盟しています。この背景には、正会員と賛助会員の会費額に大きな差異があることが原因として挙げられますが、委員会では、会費制度の見直しと共に、正会員のメリット等の付加価値の向上に向け、新たな会費制度を構築すべく検討しています。

平成28年度クラシック音楽普及事業

<Y-Classic> 青少年向け81公演ご紹介中!

本会ではクラシック音楽普及のための公益目的事業として、「こども青少年クラシック音楽普及プロジェクト Y-Classic」を行っております。2010年からの旧ジャパン・クラシック・フェスティバルの後継として、2015年夏から始まった当プロジェクトでは、現在国内全国で増えつつある「子ども・青少年向けに特化したクラシック音楽公演」をご紹介する国内唯一のポータルサイトを運営し、次世代を担う子どもや若い世代へ向けて、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見してもらう取り組みを継続して行っております。

現在、お子様や青少年の皆様にも親しんでいただける公演として、81公演*を一挙掲載中!そのほとんどが、7~8月の夏休みシーズンに集中しています。(*=平成28年7月8日現在/公演は随時追加)

0才からご入場できるコンサート、小学生対象のコンサートやワークショップ、子どもと一緒に楽しめる・でも実は大人の為のコンサート等、充実のラインナップをぜひ一度ご覧ください。



公演情報は、会員内外を問わず掲載しております。今後の開催情報は事務局まで (TEL 03-5719-7601 / E-mail info@classic.or.jp)。

- 協会トップページより <http://www.classic.or.jp>
- facebook <https://www.facebook.com/clafes>
- Twitter @jcf_info

地域創造 平成28年度公共ホール音楽活性化事業・全体研修会

登録アーティストによる公開プレゼンテーション開催

平成28年4月19日(火)Hakuju Hallにて、一般財団法人地域創造の標記事業登録アーティスト計7名が、演奏とトークによる公開プレゼンテーションを行いました。[本会制作協力事業]

プレゼンテーションは平成28年度の標記事業に参加する全国各地の17団体に対する研修会の一環として開催されました。各団体の担当者が、ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・ホルン・チューバ・声楽(バリトン)・マリimbaと、全て異なるジャンルの個性あふれるプレゼンテーションを聴き、どの登録アーティストへ出演を依頼するか検討しました。

翌5月にはアーティストの派遣地域が決定し、今年9月から来年2月まで各地域でアウトリーチとホール公演が行われます。



ヴィタリ・ユシュマノフさん(バリトン)

喜名雅さん(チューバ)



塚越慎子さん(マリimba)



Activities

●4月13日 第1回女性部会

協会初めての試みとして、会員各位で業務に精励されている女性スタッフの皆様を対象に、連携と情報交換を目的とした「女性部会」を開催しました。経営者から職員まで、様々なキャリアの6名の方が参加し、協会の活性化等について、柔軟な視点で活発に意見交換しました。今年度は年3～4回開催予定ですので、今後ご期待ください。

●4月15日、18日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業 広島セッション 派遣アーティスト説明会

●4月18日-20日 公共ホール音楽活性化事業平成28年度全体研修会(於:地域創造)

4月19日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業登録アーティストによる公開プレゼンテーション(於: Hakuju Hall)
(詳細は2面参照)

●5月13日 平成27年度事業会計監査

平成27年度の諸事業の説明がなされ、続いて栗林監事・佐藤監事が財務諸表及び会計帳簿等を監査し、正しく処理されていることが確認されました。

●5月24日 広報紙委員会

●5月24日 三役会(執行役員会)

●5月27日 平成28年度第1回定例理事会、平成28年度定時会員総会(於:東京オペラシティ 7階会議室)

(詳細は2面参照)

●6月8日 制度改革小委員会

(詳細は2面参照)

●6月9日 こども・青少年クラシック音楽普及プロジェクト(Y-Classic)担当理事協議

●6月9日 心の復興音楽基金支援内容検討会

基金での支援対象地域に新たに熊本地震の被災地を含めるか、協議しました。

●6月26日-7月1日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業 アウトリーチ・フォーラム事業広島セッション アウトリーチ研修

(一財)地域創造が今年度広島県へ派遣する新進アーティスト3組(トリオ・ノート、ピエーレ弦楽四重奏団、Lumie Saxophone Quartet)が広島県民文化センターにて合宿形式の研修に参加し、グループ討論や小学校でのアウトリーチ体験を行いました。この成果をふまえ、今年9月～12月に広島県内7地域でアウトリーチ及びコンサートを行います。



●6月27日 心の復興音楽基金 2016年度後期支援対象事業 募集要項公開

●宝くじドリーム館プレミアム・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



4月20日 東京

出演:田村真寛/サクソフォン
(ヤマハミュージックアーティスト所属)
大野真由子/ピアノ



4月21日 大阪

出演:金子三勇士/ピアノ(ジャパン・アーツ所属)



5月18日 東京

出演:廣田美穂/ソプラノ(日本オペラ振興会所属)
岩崎香織/ピアノ

©Shingo Azumaya



5月19日 大阪

出演:仲道都代/ピアノ(ジャパン・アーツ所属) *特別出演



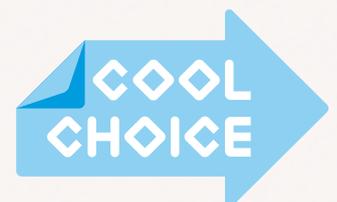
6月15日 東京

出演:唐津健/チェロ
(パンフィック・コンサート・マネジメント所属)
佐々木京子/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)



6月16日 大阪

出演:乗松恵美/ソプラノ(ミリオンコンサート協会所属)
北林聖子/ピアノ



本会は地球温暖化対策のための運動「COOL CHOICE」に賛同します。

Relay Essay



東海地区のクラシック音楽業界の現状

まず名古屋って町は?・・・からお話しましょう。

現在、名古屋・愛知県を中心とした地域(地元では東海地方という)は、『ものづくり』という言葉、思い入れを込めて特別扱っているように思います。というのも、遠い昔から受け継がれてきたこの「ものづくりの技術と精神」なるものは、現在もお発展し続けている自動車産業をはじめ航空宇宙産業など日本の未来を導いている産業の基礎だという名古屋人の自信そのものなのである。つまり、東海地方は「主体的で創造性の塊」が集まっている素晴らしいところなのだ・・・と考えているわけです。

しかし果たしてそうでしょうか?

名古屋・東海地方にとって、関東圏は、なんとなくクリスタル的な漠然とした憧れの都であり、関西圏は、なんでもやっつるわい!といった熱きところの人間が集まる本能的で野生的場所なのであります。このふたつの憧れとも嫉妬とも思える複雑な感情をいだきながらも、現実的にはふたつの大きな文化圏に挟まれ、多大なる影響を受けているにも関わらず、それを認めることなく、自分たちだけは他とは異なる文化をもつ

た独立した地域なのだと思っている節があります。

あれは、もう20年以上もまえのことですが、誇り高さ?名古屋人にとって思いもよらぬ事件がおきました。東海道新幹線『のぞみ号』の名古屋飛ばし。(実は始発の1本だけなのだが)当時地元の新聞社やテレビ局はこぞって報道し人々は「ああ名古屋は飛ばされたんだ・・・」と落胆し、「またなんでえ?どおしてえ?」と疑問に思ったものでした。

ところが、三大都市圏のイベント開催や有名チェーン店の進出等々が、愛知名古屋およびその周辺地域(中京圏)をはずすのは、もうその頃から至極当然!となっていました。三大都市圏とは、名古屋人にとって、無論「東名阪」であります。

①は東京 ②は大阪 に異論をはさむ余地はありません。しかし③は、実はいろいろです。時に福岡・札幌、仙台・横浜、そしてずっとあとに名古屋が位置づけられているのが現実なのです。さて本題です。私どもが生業としているクラシックコンサートもまた頻繁に「名古屋飛ばし」「名古屋はずし」が行われています。本年も世界最高峰のオーケストラ公演は飛ばされ、東京大阪方面を憧れと嫉妬の心で観ています。ではなぜ名古屋ははずされるのでしょうか?

名古屋のホール環境は、ここ最近益々減少悪化の一途です。採算ベースに乗らない中小ホールしかないというのも理由のひとつでしょう。また名古屋地域での特殊な公演開催事情もあるかもしれません。ご存知のとおり在名6局のテレビ局と、AM・FMの各ラジオ局、地元の大手中堅の新聞社、岐阜三重の地方放送局といった巨大メディア群が、クラシックコンサート自体をも「ものづくり」してきました。現在もそれは変わることなく 春や秋のシリーズ 年間を通してのスーパーでプレミアなコンサート ルーティーンコンサート といった特色があり、各局がしのぎを削って主催しています。

その中で一介の音楽事務所にかがでできるのか・・・苦悩と葛藤の日々が続きます。私どもは、主催者、演奏家、聴衆、どなたさまにとっても最高のお手伝いさんになる。と固く誓い、日々精進してまいります。

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 理事
クラシック名古屋 代表
岩崎 幸弘

心の復興音楽基金 ～東日本大震災の被災地に音楽を届ける支援金～



心の復興音楽基金[運営:日本クラシック音楽事業協会内]では、東日本大震災の被災地に赴いて演奏活動等を行う音楽家に対して必要経費(交通費・宿泊費、調律費等)を助成する事業を行っています。

熊本地震の被災地も対象とします
(詳細はウェブへ)

〈2016年度後期の事業について〉 対象:2016年10月1日～2017年3月31日の期間に実施される活動

応募期間	2016年8月1日(月)～8月26日(金) 必着
結果通知	2016年9月16日(金)
助成金額	1件あたり30万円を上限として支援総額100万円前後を予定
助成条件	助成内定した活動について、心の復興音楽基金の規定を遵守いただく他、事業完了後適切な活動報告書を提出いただける事 また、日本クラシック音楽事業協会会員からの推薦を必要とします

詳細な要項、応募用紙のダウンロードは日本クラシック音楽事業協会ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.classic.or.jp/p/fukko.html>



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,000人、登録曲3万5千曲超

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約2,000万PV

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/



広告募集中

発行部数:500部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(1月、4月、7月、10月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm)1万円(消費税別)

お問い合わせ:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5719-7601

E-mail. info@classic.or.jp

What's New

会員情報

[人事]

正会員 公益財団法人東京オペラシティ文化財団
理事長 武田嘉和

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

文化省創設キャンペーンにご参加ください



協会も構成団体として参加している「文化芸術推進フォーラム」は、実演芸術、映画、美術など幅広い文化芸術関係団体が集い、文化芸術振興のために国の仕組みを整える提言活動を重ねています。現在「五輪の年には文化省」として、文化省創設のためのキャンペーンを行っています。皆様もぜひご参加ください。

キャンペーン1 ウェブサイトで賛同表明

たくさんの方々が文化省創設を望んでいることを国会に届けます。

キャンペーン2 キャンペーンはがきの送付

文化省創設の意義を広く社会に伝えるために、皆様の身近な人たちへ送付してください。はがきの紙面はウェブサイトからダウンロードできます。

キャンペーンイベントにご来場ください

「アーティストによる新作展」 11/9～11 東京美術倶楽部、11/12 新国立劇場

「オリンピック映画上映会」 11/11 憲政記念館(予定)

「文化芸術をすべての人々に」 11/12 13時～21時 新国立劇場中劇場

[主催] 文化芸術推進フォーラム

[協力] 文化芸術振興議員連盟(超党派)

[キャンペーン事務局] 文化芸術推進フォーラム(芸団協内) Tel.03-5353-6600 Fax.03-5353-6614

E-mail:info@ac-forum http://ac-forum.jp

五輪の年には文化省

今後の活動予定

●8月2日～4日 地域創造フェスティバル2016

公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストによるプレゼンテーション、セミナー等が行われます。[本会制作協力事業]

●宝くじドリーム館プレミアム クラシック コンサート

9月14日 東京

儀絵里子/ヴァイオリン(1002所属)
竹村浄子/ピアノ(日本アーティスト所属)

9月15日 大阪

高見信行/トランペット(プロ アルテ ムジケ所属)

10月19日 東京

前田啓太/打楽器(プレラーディオ所属)

10月20日 大阪

デュオ・レゾネ/クラリネット&ピアノ(プレラーディオ所属)

11月16日 東京

中井亮一/テノール(日本オペラ振興会所属)

11月17日 大阪

河野めぐみ/メゾ・ソプラノ(日本オペラ振興会所属)

※8月はお休み。12月以降も開催します。

オフィシャル
ウェブサイト
<http://ac-forum.jp>



TO 2020



クラシック音楽事業ガイド 2015-2016

これは便利!

クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック



●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の98法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。

(隔年発行につき、次回は2017年発行予定)

定価 ■ 本体952円+税

発行 ■ 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



音楽とともに働きたい人の必携書!!

クラシック・コンサート制作の基礎知識 好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 ■ 2,160円(本体2,000円+税) お申込み・お問合わせは事務局まで。

発行 ■ 株式会社ヤマハミュージックメディア

制作 ■ 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、65年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「JAPAN CLASSIC FESTIVAL」や、「こども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為に事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正会員〈平成28年7月31日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスペン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(有)大阪アーティスト協会
(株)音楽芸術家協会
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
コンサートイマジン
(株)ザ・シンフォニーホール

(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(有)新演奏家協会
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサーツ
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
ハーモニージャパン(株)
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(株)ブライトワン

ブラームスホール協会
(株)プレルーディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛助会員〈平成28年7月31日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(有)アルデンテ・ミュージック・トーキョー
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(株)王子ホール
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)オペラ王国社
(株)カメラータ・トウキョウ
Kトレーディング(株)
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(一社)JFTD
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス
(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール

(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあぼ)
(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
(株)ノジスタジオ
Hakuju Hall
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター

(公財)びわ湖ホール
フェスティバルホール
(株)フリーウェイ
(株)フロレスタン
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局
(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
宗次ホール
ヤマハ(株)
(一財)ヤマハ音楽振興会
横浜みなとみらいホール
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ロームミュージックファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目1番1号 鈴友ビル4F TEL:03-5719-7601 FAX03-5719-7603
URL: <http://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp